

川にあるものを使って遊ぶ活動

五感に働きかける活動を通して、創造性が広がる!

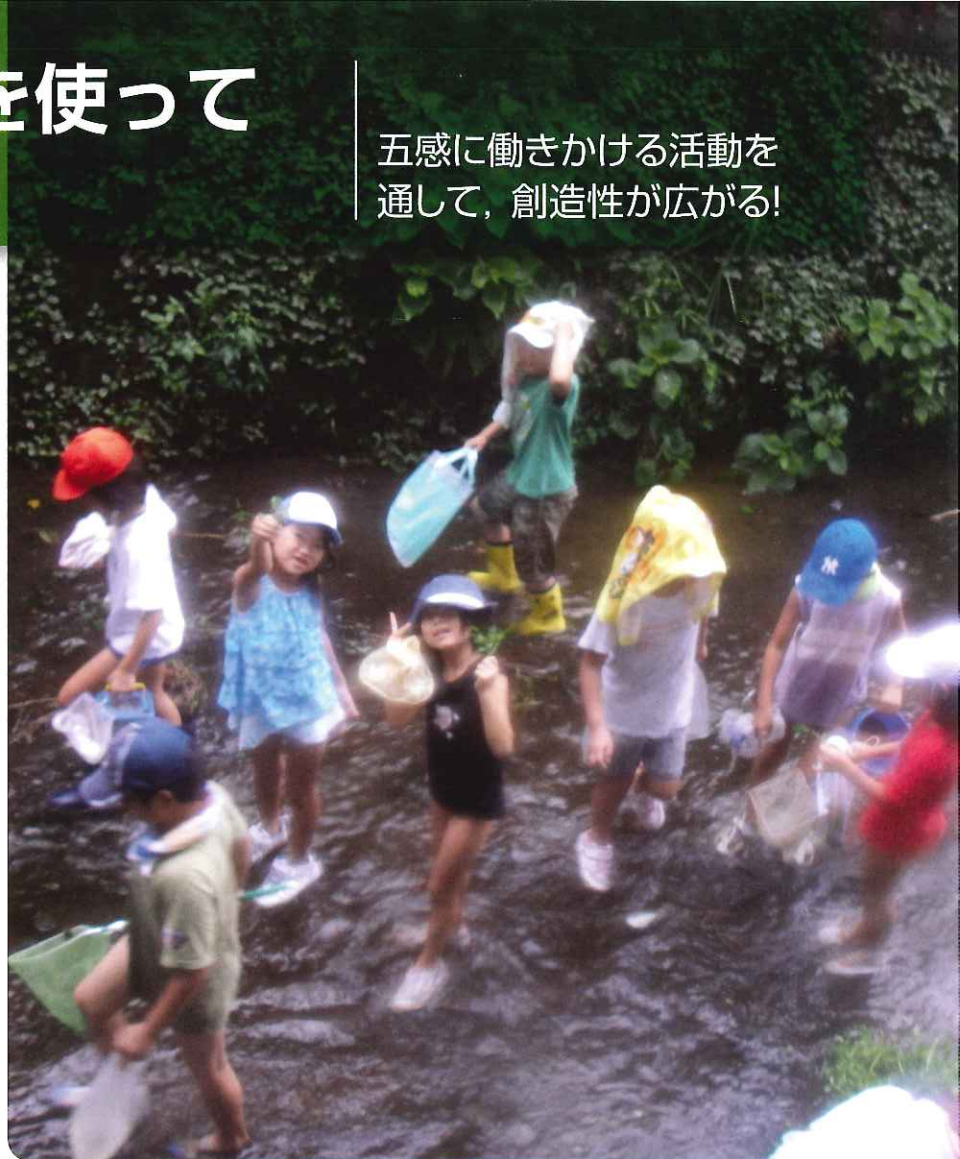
活動概要

大道小学校の近くを流れる侍従川^{じじゅう}を活動の場として、川の周辺の観察や川にあるものを使って遊びました。

川に、ごく当たり前にあるもので遊ぶことで、子どもたちは川や生物、そして自然に関する様々なことを発見しました。

活動の後半では、川で見つけた素材を使って「道具づくり」を行い、実際に川に行って使ってみました。

学校名	神奈川県横浜市立大道小学校
活動場所	侍従川 ^{じじゅう} (小学校から約300m、徒歩で移動)
対象学年	1年生
科目	生活科として活動
所要時間	7時間



学習のねらい

本学習では生活科の授業で活動しました。

学習のねらいを次のように考え、活動しました。

- ①侍従川の身近な自然を利用するなどして、五感に働きかけることにより感性をみがく。それと同時に、進んで遊びを楽しむことができるようにすること。

- ②侍従川を大切に思う人々から話を聞いたり、自分たちの生活は侍従川とかわわっていることを理解したりした上で、それらに親しみを持ち、安全に生活できるようにすること。

実践例

活動を行うにあたって



P プログラム内容

本プログラムを始める前に、学校の恒例である全校児童による侍従川の清掃活動を行いました。

活動1 2時間	侍従川探検 そこにあるもので遊ぼう
活動2 2時間	侍従川探検 私の宝物を探そう
活動3 1時間	侍従川で見つけた宝物 つくって遊ぼう
活動4 2時間	宝物を持って行って、侍従川で遊ぼう

活動時期

- ・9月に実施

参加した児童数

- ・1年生 55名



活動場所

- ・侍従川（小学校から約300m、徒歩で移動）



使用した道具

特筆すべき道具は必要ありませんでしたが、野外活動時に児童に用意させたものを紹介します。

リュック、長袖シャツ、ぬれてもよい靴（サンダル不可）、赤白帽、汗ふきタオル、水筒、スーパーの袋、着替えまたは水着

STAFF

スタッフの手配

安全対策の面で市民団体や、保護者のボランティアの方に協力していただきました。



現地下見

活動日の数日前には、数人の先生で活動時と同じ時間帯に川に入り、危険箇所がないかどうか確認しました。また、安全管理として、保護者や市民団体の協力のもと、活動箇所の上下流に大人を配置しました。

活動内容



導入

～侍従川清掃～



↑ 清掃活動

- 「侍従川となかよし」の学習を始める前に、全校の恒例行事である侍従川清掃を行いました。
- 清掃中には、めずらしいハグロトンボなどに出会うなど、自然との触れ合いも体感できました。
- 川を自分の手できれいにしたことがうれしかったのか、登下校のときに見てきた川の様子を、担任に報告する子どもが増えてくるようになりました。



活動1

～侍従川探検 そこにあるもので遊ぼう～



↑ 笹舟ながし

- 地域の方と一緒に、侍従川に「探検」に行き、川で見つけたもので遊びました。
- 子どもたちは、植物の観察やアメンボ探し、葉っぱの舟を川に浮かべて遊ぶなどして、川に親しむことができました。
- 子どもたちは、進んで川の自然の中で見つけたものを使って遊び、自然のよさを感じ取ろうとしていました。





活動2 ～侍従川探検 私の宝物を探そう～



↑ 捕まえたアメンボ

- 侍従川で、きれいな花などの「宝物」探しを行いました。
- 子どもたちは、活動1で川に行った経験を活かし、川に出かける準備や川での遊びを積極的に行いました。
- 子どもたちは、花や実、虫など様々な宝物を見つけ、教室に持ち帰りました。



活動3 ～侍従川で見つけた宝物 つくって遊ぼう～



↑ 楽器作り

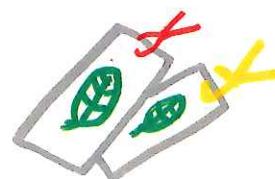
- 川で見つけた「宝物」を使って、教室で「ものづくり」を行いました。



↑ 水鉄砲づくり

- 子どもたちは、見つけてきた「宝物」からさらに発想して、木の葉のしおりや、楽器（数珠のマラカスなど）水鉄砲などをつくりました。

実践例



活動4 ～宝物を持って行って、侍従川で遊ぼう～



↑ 水鉄砲遊び

- つくったアクセサリーや楽器を持って侍従川に行き、水鉄砲遊びなどをしました。
- 子どもたちは、自然を活かして遊ぶ楽しさや、ルールを守って遊ぶ楽しさに気がついたようでした。
- また、侍従川と触れ合って生活することは、楽しいことだと気がついたようでした。



活動による効果

低学年のテーマとなっている「身近な自然環境にすんでかわりながら……」の中で、とりわけ五感に働きかける活動を意識して行うことで、子どもたちが生き生きと活動し、創造性が広がっていきます。



関連する単元

- ・1・2年生—生活「いきものとなかよし」
- ・3年生—理科「身近な自然の観察」
- ・共通—総合的な学習の時間



子どもたちの広場

- ◎ トンボ池で見つけた生き物のえさの種類を考えたよ。
- ◎ 川の水がとてもよごれているときがある。心配だ。
- ◎ 侍従川にまた行ってみたい。
- ◎ ハグロトンボがひらひら飛んでいて、とてもきれいだった。
- ◎ きれいな花や草をたくさん見つけたい。
- ◎ アメンボなどの生き物をつかまえたい。
- ◎ 川の水がきれいだったので、水鉄砲をつくって水遊びをしたい。
- ◎ 川原の石を並べ替えて遊んでみたい。
- ◎ 草舟をつくって浮かべてみたい。



先生の声

侍従川には、魚やトンボなどの生き物や、アシやススキなどの植物をはじめとして、身近な自然がたくさんあります。普段は上から眺めるだけの川となっていますが、この機会に、子どもたちが侍従川の自然と「なかよし」になってほしいと願っています。

5月には全校の恒例行事である侍従川清掃に参加しました。大雨の後だったので、生き物との出会いはほとんどありませんでしたが、川を自分たちの手できれいにしたことがうれしかったので、そのとき以来、登下校のときなどに見てきた川の様子を担任に報告してくる子が増えてきました。

また、「ふるさと侍従川に親しむ会」で活動している地域の方々も、侍従川清掃の際にも、子どもたちの安全を見守りつつ、川の魅力を話してくださるなど、とても心強い存在です。

この町の人とも「なかよし」となれるような、単元の展開をしていきたいと考えています。

